



内容目次

- ・検診、受けてますか？
その検査、必要ですか？
- ・インフォメーション
- ・外来診療表



発行元 地方独立行政法人さんむ医療センター
 広報編集委員会
<http://www.sanmu-mc.jp/>

インフォメーション

1. 休診について (8月29日現在)

9月 7日(水)	外科	篠原医師休診
9月 8日(木)	神経内科	伊藤医師9月7日午後へ変更
9月 9日(金)	外科	篠原医師休診
9月 9日(金)	眼科	予約患者様のみの診療
9月 9日(金)	皮膚科	休診
9月12日(月)	整形外科	大田医師休診
9月13日(火)	整形外科	大田医師休診
9月14日(水)	皮膚科	休診
9月16日(金)	外科	森山医師休診
9月23日(金)	内科	予約患者様のみの診療
9月29日(木)	神経内科	伊藤医師休診
9月29日(木)	脳外科	休診
9月30日(金)	脳外科	休診
9月30日(金)	皮膚科	休診

(変更する場合があります。休診等の情報は、北棟1階の掲示板をご覧ください。)

外来診療表

平成28年 7月4日から

受付時間
 新患 来院
 整形外科・泌尿器科
 小児科(水)・眼科

AM8:00~11:30
 AM7:30~11:30
 ~10:30
 ~11:00

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	1	川上	川上	川上	上田		伊藤		川上	
	2	掛村	島田	島田	鶴飼		鶴飼			
	3	瀧澤	瀧澤	瀧澤	水谷		瀧澤			
	4	碓井	碓井	碓井	碓井				中野	
	5	出口	齋藤	齋藤	齋藤		齋藤		掛村	
	6	坂本			坂本		坂本			
小児科	1		田島	田島				濱田		
	2	乳児検診	田島	田島	大学医師			濱田		ワクチン
	3	水見	水見	*ワクチン			水見	1ヶ月検診	水見	
外科	1	新患外来	坂本	篠原	篠原	角田		篠原	篠原	
	2	須ノ内	黒田	渡邊		須ノ内	須ノ内	太田		
	3	篠原	須ノ内			加野		森山		
整形外科	1	石川	遠藤				重村		重村	
	2	葛城	大田				葛城		遠藤	
	3	大田					山崎			
脳神経外科	1	田中	田中	田中	田中				田中	
	2	小野					小野			
皮膚科	1	木村	木村		石田		木村		木村	
泌尿器科	1	仲村	坂本		岡東		佐塚			
産婦人科	1	木下	水谷	手術	木下		木下	木下	水谷	手術
	2	水谷	神下		神下		神下	神下	神下	
眼科	1	神原	特殊治療	特殊治療	神原				神原	
	2	辰巳	手術		千葉				柿栖	
耳鼻咽喉科	1	外池			花澤	大学医師			茶蘭	
歯科口腔外科	1	金沢	外来手術	金沢	金沢	外来手術	金沢	手術	金沢	外来手術
	2	小出		山本	澤井		笠松		大和地	

注1 〇は予約診療のみです。
 2 完全予約制 (心臓血管外科、神経内科、緩和ケア)の初診予約窓口 北棟2階 地域医療連携室
 3 完全予約制 (和漢診療)の初診予約窓口 北棟1階 予約センター
 4 小児科の*ワクチンについては、毎月第2週火曜日(10月・1月は第3週火曜日)は行いません。
 5 皮膚科水曜日について、紹介状をお持ちの患者様は診療致します。

検診、受けてますか？その検査、必要ですか？

「健康のために、検診を受けておきたい」「検診は毎年うけるようにしている」「ドックでまとめて検査してもらえれば、安心」。様々な理由や形態で検診が行われていますが、検診は健康のために受けたほうがよいのでしょうか？・・・答えは意外かもしれませんが、Yes でもあり、No でもあります。一体どういうことでしょうか？

検診の目的は、疾患の早期発見・早期治療による健康寿命の延長のはずです。極端な話ですが、発見したところで治療法のない病気は見つけたところで意味がないのです。逆に精神的苦痛のみを負う結果になりかねません。中には検診で早期がんが発見され治療が功を奏した方もいらっしゃるでしょう。しかし、その検診で本当に寿命が延びたのでしょうか？放置しても最終的な死因は、がんとは関係のない脳卒中だったかもしれません。

また、検診で見つかるものが必ずしも治療が必要な病気だけとは限りません。異常結果の実態がよくわからず、「経過観察」として定期的な受診・検査につながるケースは少なくありません。

結果的に大病でなかったとしても、通院にかかった費用や時間は無駄になってはいないのでしょうか？3割負担の保険診療であれば残りの7割は公費からも支払われており、大勢の人がこのような状態となれば医療経済圧迫の一因となります。平たく言えば、見つけなくてもよかったものを見つけて、余計な手間や費用がかかっている、と言えます。

検診の結果、精密検査となり体に針やメス、薬剤が入る処置を受けた場合はどうでしょうか？病気が否定されれば一安心ですが、精密検査の合併症で命を落としたり後遺症を負ったりする可能性も考慮しなければなりません。TVでも検診を啓蒙するCMを見かけることがありますが、CMの提供元はどこでしょう？その病気の治療薬の製造会社である場合があります。病人が増えれば会社の売上げが伸びるからです。では、どうするのがいいのでしょうか？検診は病気の種類ごとにその方法と効率が研究されており、例えば米国では USPSTF という



機関がその結果をインターネット上でも公開しています。検診の効果が高く、強く推奨されているものや、総合的に見て害のほうが大きいために検査の実施が否定されているものもあります。検査の効果は年齢ごとにも検討されています。日本版はというと、全体的には米国ほどの網羅性・緻密性はありませんが病気によってはガイドラインなどが提唱されています。



果たして、20歳のタバコを吸わない若者に肺がん検診が必要でしょうか？100歳の長寿にがん検診が必要でしょうか？あなたのことをよく知るかかりつけ医をもって、どの検診が自分自身にとって必要なのか、または不要なのかをよく相談されてください。同じ条件の方がいても、そのライフスタイルや価値観によっても検診の価値はかわりうるでしょう。情報が氾濫する現代では「健康のために検診を受けておけばいい」という時代から「健康のためにどの検診を受け、どの検診を受けざるべきか」の取捨選択が必要な時代になってきたと言えるでしょう。

文責：産婦人科・内科 水谷佳敬

救急外来について

救急外来で診察を希望される方は、直接来院される前に、必ずお電話で診察が受けられるかご確認下さい。

入院中の患者様の診察など他の業務により、お断りする場合やしばらくお待ち頂く場合もありますので、予めご了承下さい。ご協力とご理解をお願い致します。なお、当日の精算は出来ません。

・会計にて一時預かり金をしています。

お問い合わせ先

地方独立行政法人
さんむ医療センター 地域医療連携室
住所：〒289-1326 千葉県山武市成東 167 番地
TEL：0475 (82) 2521 FAX：0475 (82) 3354